

留学が開始して、あっという間に一か月が経ちました。南半球に位置するオーストラリアは日本とは違い、暑い日々が続いています。新しい環境で、慣れないことや、わからないことばかりです。この一か月で感じた一番の壁はやはり言語の壁で、特に聞き取りが本当に大変です。何を言っているか理解できないとやるべきこともわからず、困ることがたくさんありました。耳が慣れるように、頑張らなければと思いました。そんな生活の中で一番必要になってくるのが、自分から行動することです。周りの人に自分からわからないことを聞いてみたり、話しかけてみたりと、自分から行動していかないと、何も始まりません。受け身ではなく、積極的に行動することが必要となる場面が多いです。

しかし、初めての街で、全く異なる文化を体験できるので、ワクワクすることも多いです。街の中心地や動物園、公園、海などに遊びに行きました。建物や服装などの生活スタイルが日本とは全く異なっており、街を歩くだけでも刺激的です。例えば、住宅街一つとっても、高さのある住宅が少なかったり、ほぼすべての家が車を所持していたりと、雰囲気が全く違います。家の周りを散策するだけでも楽しいと感じます。これからの留学生活が意義のあるものになるよう、たくさん学び、体験していきたいです。

また、ホストファミリーとの生活も始まりました。家族になるとはいえ、あったこともない人たちと暮らすのも、すごく緊張したことの一つです。コミュニケーションをたくさん重ね、互いに信頼できる関係が築けるように、会話の機会を大切にしていきたいと感じました。優しいホストマザーと元気なホストブラザーたちは、私が困ったときに、親切に助けてくれる、やさしい人たちなので、自分も助けてくれた恩を返せるように頑張っていきたいです。

これからの留学生活、つらいこともたくさんあると思いますが、乗り越えられるように頑張っていきたいです。